

第1回 横浜市生活自立支援施設指定管理者選定評価委員会議事録		
1	日時	平成27年5月25日(月) 13:45~15:15
2	開催場所	横浜市寿福祉プラザ2階会議室
3	出席者	選定評価委員 川崎委員、隅田委員、三浦委員、横山委員 4人 事務局 3人
4	欠席者	選定評価委員 新保委員 1人
5	議事	(1) 委員長の選出 (2) 公募要項について (3) 指定管理者の選定プロセスについて
6	開催形態	一部公開(傍聴者1人)
7	決定事項	1 議事(1)について 新保委員を委員長に選任した。本日は、横山委員が委員長を代行し議事を進行することとした。 2 議事(2)について 公募要項を決定した。 3 議事(3)について 今後の選定プロセスを決定した。

議事

■傍聴者へ委員会開催中のお願いについて確認を行った。

■挨拶

本吉生活福祉部長より挨拶を行った。

■連絡事項

新保委員が委員会を欠席したが、過半数以上の委員が出席したため、委員会は成立した。

*横浜市生活自立支援施設指定管理者選定評価委員会運営要綱
(議事) 第7条第3項 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

■趣旨説明

事務局より指定管理者制度の説明を行った。

■議事

(1) 委員長の選出

学識経験者である新保委員を委員長として選出した。

本日は欠席しているため、本日の委員会については横山委員が委員長を代行することとした。

(2) 公募要項について

事務局から生活自立支援施設はまかぜの概要、運営実績、横浜市のホームレス対策の概要、ホームレスの実態に関する全国調査結果について説明を行った。

主な質問意見

・入所実績が減少している原因はどのようなものか？

→景気状況等により建設現場などの就労先がある（東日本大震災の被災地域など復興建設需要など）、無料低額宿泊施設への入所、生活保護の受給などが考えられる。ネットカフェ難民など現に路上にいない人たちは、ホームレスの実態に関する全国調査結果に反映されていない。

・入所者に外国籍の方はいるか？

→少ない。単純に就労先から解雇されただけの入所者はいない。障害などの生活課題を抱えた入所者はいたが、多くはない。

事務局から公募要項案、公募要綱様式案の説明を行う。

主な質問意見

- ・応募団体が複数となり、選定において競合が見込まれそうか？

→第1期・第2期の公募の際には、本委員会において傍聴者はいなかったが、今回は1名傍聴者がいた。新しい生活困窮者自立支援法も施行されたため、全国で同様の事業を行っている団体に関心を示していると思われる。

- ・ジョイント（共同事業体）での応募は可能か？また、市として競争を促すような方法を取れるか？例えば、2団体に指定管理者を任せるとか。

→共同事業体としての応募は可能である。別々に応募した団体に市から共同事業を組んで運営させることはできない。

- ・該当施設のみでなく、応募団体（全体）の財務面を含めた評価をどのように行うか？法人全体のガバナンスを評価することに重点を置いてもらいたい。

→事業計画書【様式2】資料7-3 1 応募団体に関する事で応募団体の提出書類があり、その内容にて判断をお願いしたい。

第2回選定評価委員会では、事業者ヒアリングも行われるので委員より確認をお願いしたい。

(3) 指定管理者の選定プロセスについて

事務局から選定プロセスについて説明を行った。

選定評価委員からは質問、意見は特になし

■その他

- ・第2回の選定評価委員会は8月中旬に行うこととし、事務局より各委員の日程の確認を行い決定することとした。

・第2回の選定評価委員会では、応募団体のプレゼンテーション、ヒアリングを行い、指定管理者候補団体を選定するため、非公開で実施することとした。